

平成27年度 可能性を拓き 人を育てる 榎本小学校 教育の取組み

大阪市教育振興基本計画

榎本小学校教育目標

『生き抜く力』を育成する
 教育活動を創造する
 ～子どもに寄り添い
 自尊感情を高める～

協働参画による
 学校づくり

校長・副校長・教頭
 によるマネジメント体制

PDCAサイクル
 による学校力の
 向上

研究の推進

研究教科 国語科
 研究テーマ
 「国語授業のユニバーサルデザインを探求する」
 ～すべての子に“わかる・できる”授業を求めて～

教職員の資質向上

・子どもに寄り添える教職員に
 ・ベテラン・中堅・若手 三者の絶妙な関係
 ・「ひかりの会」の継続・発展
 ・コンプライアンスの徹底

豊かな心・学力向上・体力向上

社会総がかりでの教育活動創造

学校協議会

地域・保護者・鶴見区

関係諸機関との連携

NPO法人地域活動協議会

昔あそびの会・感謝集会・防災訓練など

ボランティア・ゲストティーチャー

読み聞かせ・シニア自然大学校など

大阪市・鶴見区の施策

C-NET・理科補助員・サポーター・環境学習など

博物館・有識者

講演会・研修会・イベントなど

幼・小・中・高・大学との連携

- ・榎本幼稚園(キャリア教育)
- ・今津中学校(教科・クラブ活動・生活指導)
- ・汎愛高等学校(武道科)
- ・大阪教育大学(授業研究 指導助言)
- ・筑波大学附属小学校(UD研究 指導助言)

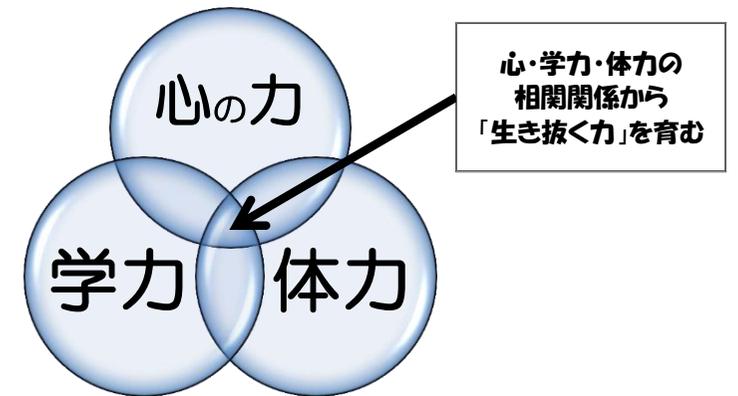
えの森の森を舞台とした教育活動創造

えの森 活性化	学校再生のシンボル (地域から譲り受けた財産の価値再発見)
	あらゆる教科等での活用 (生態園としての利活用)
	子どもの心を育てる (自然に親しみ命あるものをいつくむ)
	地域との協働・交流 (共に創り共に楽しむ)
東北 陸前高田市との連携・交流(社会貢献の精神)	

「えの森プロジェクトチーム」による取組の継続・発展

学校運営に関する計画・自己評価

視点1	学力の向上	授業のユニバーサルデザイン化 読書習慣・家庭学習の定着
視点2	道徳性・社会性の育成	道徳教育の充実 えの森の森の活性化
視点3	健康・体力の保持増進	あそびを通じた体力づくり 健康な生活習慣の確立
視点4	教職員の資質向上	コンプライアンス意識の向上 教職員としての生き抜く力



◆学力とは：知識基盤社会における必須の力。言語活動の源
 ◆体力とは：学力を支える力。学力と体力は表裏一体の関係
 ◆心の力とは：学力と体力を方向づけ、コントロールする力
 ◆生き抜く力とは：「学力」「体力」「心の力」を総合的に駆使し
 ながら、人生において遭遇する困難、試練を乗り越える力

※「人」とは、子ども・保護者・教職員のこと。したがって「人を育てる榎本小学校」とは、子どもとともに、保護者・教職員も可能性を拓き、伸びていく学校を意味する。